

国史跡中里貝塚 委員会 かわら版 (令和2年9月)

中里貝塚整備基本計画策定のための委員会を開催しました！

令和2年9月28日に「第3回史跡中里貝塚整備基本計画策定委員会」を開催しました。今回は中里貝塚整備基本計画について「第1章計画策定の経緯と概要、第2章計画地の現状、第3章史跡の概要および現状と課題、第4章基本理念」の内容について報告し、ご意見をいただきました。また、ワークショップでいただいたご意見を元に作成した整備基本計画図案3案提示し、委員のみなさまからご意見をいただきました。

◎委員のみなさまからの主な意見◎

■計画書案全体について

- 中里貝塚をつなぐ地下道があるが、その地下道がほとんど使われていない。そこには大きなパネルを50枚ぐらい設置できるスペースが空いているので、「本質的価値」を周知するための情報を明示することができるのではないか。
- 定期的なメンテナンス・保守について計画の中に記載をいれたほうがよい。

■整備基本計画図案について

- 広場を見ていると赤とんぼがたくさん飛んでいる。なかなか都会でそういう経験はできないと思うため、このような状況は残してあげたい。遊具は不要かと思う。
- 文化財として規制があるとは思いますが、掲示板での説明だけでなく、なんとかして貝塚の断面など迫力を伝えることのできる整備としてほしい。
- 露出展示を行いたいという意見がワークショップでもあったが、展示手法とメンテナンスコストやメンテナンスの手間などを事務局と地域住民で協議調整を行いながら展示手法を決める必要がある。
- 当時、ここは大きな海辺であったことを直感的に感じさせるような仕掛けがあるとよい。
- 貝塚の上ならではの整備と工夫があるとよい。
- 中里貝塚史跡広場東エントランスの下に、木道と土坑が発掘されており、目玉の1つかと思うので、表現することを検討してほしい。
- 中里貝塚史跡広場と上中里2丁目広場をつなぐ細い生活道路があるが、住民生活に配慮した導線を案内してほしいという地域住民の要望がある。

